

令和8年度 子ども県議会 任命式を開催しました

～40名の子ども議員が新たな一歩を踏み出しました～

2026年7月26日(日)

滋賀県

子ども県議会

事務局発行 / No.1



すまいる・あくしょん公式キャラクター
「にじはび」



令和8年7月26日(日)滋賀県庁において「令和8年度 子ども県議会 任命式」を開催しました。今年度は県内各地から選ばれた39名の子ども議員が参加し、約半年間にわたる活動がスタートしました。

緊張の中で迎えた活動初日

受付では少し緊張した表情を見せていた子どもたちでしたが、一人ひとりに活動で使用するファイルや資料が配られると、これから始まる活動への期待を膨らませながら、説明に熱心に耳を傾けていました。

「どんな活動をするのだろうか」といった期待が感じられ、子どもたちは真剣な表情でオリエンテーションに参加していました。



仲間との出会いで笑顔が広がる

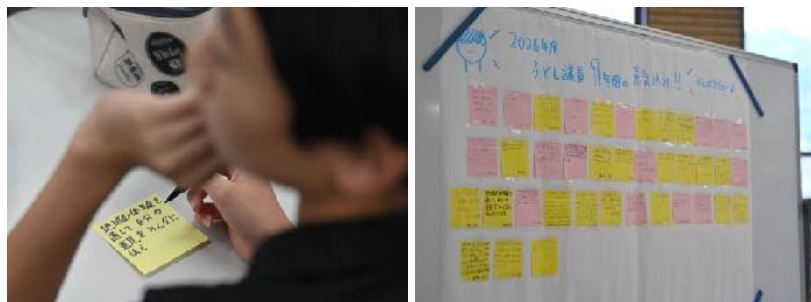
オリエンテーション後は、これから約半年間ともに活動する仲間との自己紹介やアイスブレイクを実施しました。

また、活動をサポートするサポーターの紹介も行い、子どもたちは少しずつ会話を交わしながら交流を深めました。活動を通して次第に笑顔が増え、会場には和やかな雰囲気が広がっていました。



子ども議員としての意気込み

一人ひとりが「子ども議員として頑張りたいこと」を記入しました。子どもたちからは、未来の滋賀県への思いや、自分自身の成長への期待が込められた言葉が多く寄せられました。



三日月知事から任命書を授与



午後からは任命式のリハーサルを行い、本番に臨みました。一人ひとりが名前を呼ばれ、知事から任命書を受け取る姿には、これから子ども議員として活動する決意が感じられ、会場には緊張感のある厳かな雰囲気が広がりました。

三日月知事からのメッセージ

三日月知事からは、子ども議員への期待を込めて激励の言葉が贈られました。知事は、「身の回りのこと・みんなのこと・未来のこと」の3つの視点を大切にしながら活動してほしいと呼びかけました。自分自身だけでなく、家族や友達、学校、地域、そして未来に暮らす人たちのことまで考えながら意見を出すことの大切さを伝えるとともに、12月の県議会での発表に向けて、多くの学びと挑戦を積み重ねてほしいと期待を寄せられました。



任命式を終えた子どもたちの声

任命式終了後には、多くの子どもたちから前向きな感想が寄せられました。

【子どもたちの意気込み（一部紹介）】

- ・自分の意見をしっかり持ち、分かりやすく伝えながら、多くの人と交流し、滋賀県のより良い未来づくりに取り組みたいです。
- ・滋賀県の皆さんが抱える悩みや不安について、みんなと一緒に考え、解決につながる提案をしていきたいです。
- ・年上の仲間とも積極的に交流し、協力しながら様々なことに挑戦していきたいです。
- ・誰もが安心して暮らせる滋賀県にしていきたいです。
- ・自分の考えを相手に分かりやすく伝えられる力を身に付け、この1年間の活動に生かしていきたいです。

【参加した子どもたちの感想（一部紹介）】

- ・滋賀県の代表として、より良い滋賀県につながる提案ができるよう頑張りたいです。仲間と協力しながら活動していきたいと思いました。
- ・任命書を受け取り、子ども議員としての自覚を持つことができました。知事のお話を聞き、自分にできることを考えるきっかけになりました。

任命式を終え、いよいよ令和8年度子ども県議会の活動が本格的にスタートしました。今後は、県内各地での体験活動や学習会を通して地域の課題を学び、自分たちの考えを深めながら、12月の県議会での提案に向けて活動を進めていきます。これからの子ども議員40名の活躍に、ぜひご期待ください。